

# KATACHI かたち

## Zeitgenössische Angewandte Kunst aus Japan zwischen Handwerk und Industrie 現代日本の意匠

展覧会名: かたち 現代日本の意匠 展

ドイツ語 : KATACHI  
Zeitgenössische Angewandte Kunst aus Japan zwischen Handwerk und Industrie

場所 : フランクフルト市立応用芸術(デザイン)美術館  
Museum für Angewandte Kunst Frankfurt  
住所 : Schaumainkai 17, 60594 Frankfurt am Main, Germany

期日 : 2007年 5月3日 から 2007年 8月26日まで  
後援 : フランクフルト日本国領事館  
協賛 : 国際交流基金

オープニングレセプション : 2007年 5月 2日 (水) 午後 7:00 より  
かたち展 カタログ制作 (200 ページ、カラー版)

### 日本人とかたち

展覧会では、日本の日常生活の中で使われている生活用品約 100 点が紹介される。100 点の中には、人間の手で作られた物も、機会によって作られた物もあるが、著名な工芸家によって作られた高価な芸術作品や、骨董屋の軒先に並ぶような古い由緒ある物はひとつもない。

しかし、中には十年、百年、千年以上も同じ形で作り続けられている物がある。また、高度なハイテク技術によって作られている物も、逆に廃れる事なく何百年も引き継がれてきた手作業の技術によって作られている物もある。

日本では、古くから日本人の生活の中にある簡素で機能的な物のかたちが、戦後の欧米志向の時代を乗り越え、現代の先進技術を駆使した工業製品のデザインの中で再び見直されつつある。また一方、伝統工芸の世界では現代の作り手達が長い歴史の中で育まれた卓越した技術を使って、今日の時代感覚にあったモダンな製品を積極的に作り始めている。

伝統と先進技術、手作業と機械、一見相いれない両者が作り出す物のかたちは一筋の糸で結ばれているかのような共通点がある、それをただ簡素さと言う言葉だけで呼ぶにはあまりにも単純すぎるだろう。その物のかたちは、見ている私たちに緊張させ、隙がない。それは、機能重視の厳しさの故なのか、それとも研ぎすまされたフォルムから放たれる清廉さの故なのか。

これらの物のかたちを通して、そこに一つの日本の美の原型が見いだされることだろう。